


2024年度（第73回）農業農村工学会大会講演会

技術者継続教育機構認定プログラム申請中 

2024年度（第73回）農業農村工学会大会講演会は、弘前大学文京町キャンパス（青森県弘前市）において、2024年9月10日（火）、11日（水）、12日（木）の3日間、および現地研修会を9月13日（金）に開催します。

開催方法は、発表者は原則、現地にて発表いただき、聴講に関しては現地またはオンラインによる聴講を可能とするものといたします。

期日 2024年9月10日（火）、9月11日（水）、9月12日（木）、
9月13日（金）

1. 開会式、特別講演、企業展示紹介、学会賞授与式

・開会式

9月10日（火）13：30～14：00

弘前大学文京町キャンパス 創立50周年記念会館 みちのくホール（総合教育棟301講義室にて同時中継）、オンライン配信

・特別講演

9月10日（火）14：10～15：00

「スマート水田農業の推進」

江良浩二（十三湖土地改良区事務局長）

弘前大学文京町キャンパス 創立50周年記念会館 みちのくホール（総合教育棟301講義室にて同時中継）、オンライン配信

・企業展示紹介

9月10日（火）15：05～15：45

弘前大学文京町キャンパス 創立50周年記念会館 みちのくホール（総合教育棟301講義室にて同時中継）、オンライン配信

・学会賞授与式

9月10日（火）15：45～17：15

弘前大学文京町キャンパス 創立50周年記念会館 みちのくホール（総合教育棟301講義室にて同時中継）、オンライン配信

2. 一般講演会

9月10日（火）、9月11日（水）、9月12日（木）

弘前大学文京町キャンパス 総合教育棟3階・4階、オンライン配信

3. 交流会

9月10日（火）18：00～19：45

アートホテル弘前シティ3階 プレミアホール

会場での受付は17：30から開始します。参加には事前登録が必要です。当日参加はできませんので御注意願います。

参加区分	参加費
一般	8,000円
学生	3,000円

4. 企業展示

9月10日（火）、9月11日（水）、9月12日（木）

弘前大学文京町キャンパス 総合教育棟3階305講義室・306講義室・309講義室

5. 参加登録および参加費

現地参加およびオンライン聴講には、参加登録が必要です。講演申込みを行った方も参加登録を行う必要があります。2024年度（第73回）農業農村工学会大会講演会参加登録専用ホームページから

参加登録を行って下さい。この専用ホームページは農業農村工学会のホームページ <http://www.jsidre.or.jp/zenkokutaikai/> からリンクされます。

参加費は、参加登録期間によって異なりますのでご注意ください。

・早期割引期間 6月12日（水）～7月31日（水）

・通常料金期間 8月1日（木）～9月12日（木）

参加区分	早期割引料金（7/31まで）	通常料金（8/1から）
一般（現地）	13,200円	15,400円
学生（現地）	3,300円	5,500円
一般（オンライン）	13,200円	15,400円
学生（オンライン）	0円	0円

6. 配付物

配付物は下表の通りです。概要集の事前送付はありません。オンライン聴講で参加登録された方には概要集は配布いたしませんので、大会サイト内でダウンロードしてください。

なお、講演要旨集は大会参加者専用サイト内よりダウンロードしてください。

参加区分	概要集（冊子体）	講演要旨集
一般（現地）	当日配付	大会参加者専用サイト内でダウンロード
学生（現地）		
一般・学生（オンライン）	大会参加者専用サイト内でダウンロード	

7. 講演方法

①口頭発表・スチューデントセッション・企画セッション：現地会場での口頭発表を基本とします。オンライン聴講者のためにZoomによるオンライン配信を行います。

②ポスター発表：現地会場でのポスター発表を基本とします。オンライン上でのポスター掲示も行います。

8. CPDの取得について

CPD取得は、「特別講演・企業展示紹介・講演会（企画セッション・スチューデントセッション・ポスター発表を含む）の聴講および発表」、「企業展示での情報収集」、「現地研修会への参加」が対象となります。CPDを申請するには、上記5.の参加登録と終了後の自己申請が必要です。自動登録はされませんのでご注意ください。

なお、現地参加は最大21CPD、オンライン参加は最大17CPDの取得を予定しています。

*キャンパス内のゴミ箱は利用できませんので、ゴミは各自で持ち帰るようお願いします。

*今後の決定事項については、農業農村工学会のホームページでお知らせいたします。

第1日 9月10日(火) 開会式・特別講演・企業展示紹介・
学会賞授与式・一般講演会・企画
セッション・企業展示・ポスター発表

受付	8:15～	総合教育棟3階305講義室・ 306講義室・309講義室
一般講演会	9:00～12:40	総合教育棟3階・4階
開会式	13:30～14:00	創立50周年記念会館 (みちのくホール)
特別講演	14:10～15:00	創立50周年記念会館 (みちのくホール)
企業展示紹介	15:05～15:45	創立50周年記念会館 (みちのくホール)
学会賞授与式	15:45～17:15	創立50周年記念会館 (みちのくホール)
ポスター発表	9:00～17:30	総合教育棟4階409講義室・ 410講義室
企業展示	9:00～18:00	総合教育棟3階305講義室・ 306講義室・309講義室

第2日 9月11日(水) 一般講演会・ポスター発表(コア
タイム)・スチューデントセッシ
ョン・企業展示・企画セッション・シ
ンポジウム・報告会

受付	8:15～	総合教育棟3階305講義室・ 306講義室・309講義室
一般講演会・企画セッション・スチューデントセッション	9:00～18:00	総合教育棟3階・4階
ポスター発表	9:00～18:00	総合教育棟4階409講義室・ (コアタイム 13:00～14:00) 410講義室
企業展示	9:00～18:00	総合教育棟3階305講義室・ 306講義室・309講義室
シンポジウム	11:00～12:40	第6会場
報告会	14:20～16:00	第6会場

シンポジウム

男女共同参画に配慮すると人材育成の視点も変わる—光る農業農村工学へ—

期日 9月11日(水) 11:00～12:40

場所 第6会場(総合教育棟4階401講義室)

2023年度は、スタートアップとして「土地改良と農業農村工学
どうする男女共同参画」を企画し、学会や水土里ネットなどにおけ
る現状や課題を情報共有しました。総論的には、取り組みが始まっ
たばかりであり、さらなる取り組みが必要であるといえます。一方、
人口減少下では、男女共同参画を踏まえた新しい働き方が強く求め
られているのも現状です。これを受けて2024年度は、男女が、性
別にかかわらず、共にそして普通に日々の業務や研究を行う上での
人材育成に視点を合わせ、どう取り組むべきか、課題はあるのか、
どうしたら解決できるのかを考えてみたいと思います。

そこで「男女共同参画に配慮すると人材育成の視点も変わる」と
題してシンポジウムを企画しました。性別による過度な役割分担意
識にとらわれない、自由で過ごしやすく、思う存分実力が
発揮できる職場、研究の場づくりが、これからの、更にキラッと光
る農業農村工学への扉を開くのではないのでしょうか。「皆さんも一
緒に考えませんか?」参加者、関係者に呼びかけるシンポジウムに
したいと考えます。

報告会

能登半島地震の被害と課題

期日 9月11日(水) 14:20～16:00

場所 第6会場(総合教育棟4階401講義室)

農業農村工学会では、1月2日に対策本部を設置し、被災した施
設の調査を支援しています。特に石川県ではその被害が大きく、能
登半島地震による石川県の農業関連のインフラ被害が1,000件を超
えることが分かっています。県内の多くの自治体で田畑や農道に亀
裂が生じたほか、水路の崩壊も確認されています。また、農業用ダ
ムを含むため池は、県全体で崩壊などの被害が268件見つかりまし
た。決壊など二次被害が広がる恐れがあるため調査を優先し、把握
が進んでいます。

しかしながら、今後は農地やインフラ施設の復旧のみならず、農
業の営みや集落活動等のコミュニティについてどのような対策が必
要であるかなど、人口減少下における復旧・復興のあり方も課題と
なっています。そこで、石川県立大学で取り組まれている「能登半
島地震復興支援プロジェクト」や新潟大学の調査報告を加えて、「能
登半島地震の被害と課題」報告会を企画しました。

第3日 9月12日(木) 一般講演会・ポスター発表・企業展
示・企画セッション

受付	8:30～	総合教育棟3階305講義室・ 306講義室・309講義室
一般講演会・企画セッション	9:00～15:20	総合教育棟3階・4階
ポスター発表	9:00～12:40	総合教育棟4階409講義室・ 410講義室
企業展示	9:00～12:40	総合教育棟3階305講義室・ 306講義室・309講義室

現地研修会

大会主催側で大型バスを手配し移動します。2コースの中からお
選びください。各コースの詳細は次のとおりです。歩きやすい服装
と靴でお越しください。いずれも雨天決行です。

西津軽コースでは国営事業および県営事業で整備された砂丘地帯
で畑地農業を営んでいる屏風山地区、圃場整備を契機にロボットト
ラクターや自動給水栓を導入し農業の効率化・省力化を進めている県
営十三湖地区、県内一の大河川岩木川から取水する芦野頭首工を改
修中の国営十三湖地区を見学します。昼食場所は五所川原駅前を予
定しています。近くには立佞武多の館もあり、ご興味のある方は空
き時間に見学してみたいかがでしょうか。

南部コースでは棚田地域に指定された大川原地区において、現在、
自動給水栓と田越灌漑を組み合わせた水管理の省力化の実証試験を
行っており、その現地を視察します。その後、十和田湖を水源とす
る奥入瀬溪流から稲生川にかけ、水の流れを追う形で農業水利施設
を見学します。

①西津軽コース

- ・移動方法 : 大型バス(1台)
- ・日時(時間) : 令和6年9月13日(金) 8:30～16:00
- ・集合 : 弘前駅、受付(出欠確認)は8:15から開始
- ・見学場所(ルート) : 屏風山地区(畑地灌漑)→県営十三湖地区(圃場整備, 自動給水栓)→国営十三湖地区(頭首工)→昼休憩(立佞武多の館周辺)
<下車>青森空港(14:10), 新青森駅(14:40), 青森駅(15:00), 弘前駅(16:00)
- ・費用 : 5,000円(昼食代含まず)

- ・募集人数 : 先着 40 名
- ・特記事項 : 昼食は昼休憩場所周辺で各自お取りください。
付近のお食事処：マルコーセンターほか
<http://www.maruko-center.net/>

②南部コース

- ・移動方法 : 大型バス (1 台)
- ・日時 (時間) : 令和 6 年 9 月 13 日 (金) 8:30~16:00
- ・集合 : 弘前駅、受付 (出欠確認) は 8:15 から開始
- ・見学場所 (ルート) : 大川原地区 (棚田, 中山間地域での水管理) → 奥入瀬溪流沿い (制水門) → 昼休憩 (道の駅奥入瀬ろまんパーク) → 稲生川 (サイフォン, 水管橋) (下車) 八戸駅 (15:45)
- ・費用 : 5,000 円 (昼食含まず)
- ・募集人数 : 先着 40 名
- ・特記事項 : 昼食は昼休憩場所付近で各自お取りください。
付近のお食事処：奥入瀬レストランほか
<https://oirase.beer/restaurant/>

* 現地研修会は CPD ポイントの対象です。

* 今後、変更等ある場合は、随時、農業農村工学会のホームページでお知らせいたします。

* 空港、駅への到着予定時刻は交通事情等で前後する可能性があるため御了承ください。

大会講演会記念行事の開催について

ミニ動画コンテスト「こりゃ映像 (えいぞ〜) ! 2024」受賞作品の上映および表彰式

部門別講演会場

総合教育棟

- 第 1 会場 [3 階 301 講義室] 材料・施工
- 第 2 会場 [3 階 302 講義室] 農地造成・整備・保全, 水理, 企画セッション 7, 8, 11
- 第 3 会場 [3 階 303 講義室] 土壌物理, 農業土木教育, 生態環境, 企画セッション 9
- 第 4 会場 [3 階 304 講義室] 農村計画, 企画セッション 14
- 第 5 会場 [3 階 310 講義室] 企画セッション 1, 3, 12, 15, スチュアデントセッション
- 第 6 会場 [4 階 401 講義室] 企画セッション 2, 4, 5, 10, 13, 16, シンポジウム, 報告会
- 第 7 会場 [4 階 404 講義室] 環境保全, 土質力学, 応用力学
- 第 8 会場 [4 階 405 講義室] 水文・水質・気象, 企画セッション 6, 17
- 第 9 会場 [4 階 406 講義室] 灌漑排水
- ポスター会場 [4 階 409 講義室・410 講義室]
- 企業展示会場 [3 階 305 講義室・306 講義室・309 講義室]

企画セッション

【9月10日(火)】

- 企画セッション 1 第 5 会場 (9:00~10:40)
気象に関わる環境要因と畑地灌漑 (畑地整備研究部会)

- 企画セッション 2 第 6 会場 (9:00~10:40)
地球規模課題に対する総合的・学術的な取り組みの方法と課題
- 企画セッション 3 第 5 会場 (11:00~12:40)
PAWEES と PAWE の現状報告と今後の展開 (PAWEES 事務局・国際委員会)
- 企画セッション 4 第 6 会場 (11:00~12:40)
カンボジアにおける間断灌漑による水田からのメタン排出削減の取り組み

【9月11日(水)】

- 企画セッション 5 第 6 会場 (9:00~10:40)
省エネ・低炭素化を重視した灌漑排水システムを展望する
- 企画セッション 6 第 8 会場 (11:00~12:40)
農村と都市が一体となる流域治水の実現に向けて (水文・水環境研究部会)
- 企画セッション 7 第 2 会場 (14:20~16:00)
農業水利システムの機能診断, および ICT を利用した水管理システムの運用・維持管理の事例と課題 (応用水理研究部会)
- 企画セッション 8 第 2 会場 (16:20~18:00)
農地からの環境負荷排出削減と農地保全施策 (農地保全研究部会)
- 企画セッション 9 第 3 会場 (16:20~18:00)
農村生態系保全をめぐる新たな動きと農村生態工学の役割 (農村生態工学研究部会)
- 企画セッション 10 第 6 会場 (16:20~18:00)
農業農村地域における情報利活用の未来図 IV (農業農村情報研究部会)

【9月12日(木)】

- 企画セッション 11 第 2 会場 (9:00~10:40)
津軽地域の伝承に見る「水土の知」 (水土文化研究部会)
- 企画セッション 12 第 5 会場 (9:00~10:40)
カーボンニュートラルに向けた材料施工分野の取り組み (材料施工研究部会)
- 企画セッション 13 第 6 会場 (9:00~10:40)
東日本大震災から得た大震災への対応と教訓 (農業農村整備政策研究部会)
- 企画セッション 14 第 4 会場 (11:00~12:40)
食料・農業・農村基本法の改正を踏まえ農村の活性化を考える (農村計画研究部会)
- 企画セッション 15 第 5 会場 (11:00~12:40)
基幹農業水利施設の情報化施工および BIM/CIM の広範な利活用に向けた技術開発
- 企画セッション 16 第 6 会場 (11:00~12:40)
青森県における地域バイオマスを活用した資源循環の取組 (資源循環研究部会)
- 企画セッション 17 第 8 会場 (13:40~15:20)
乾燥地域における灌漑農業の新展開

2024 年度農業農村工学会賞

(※所属は推薦時)

【学術賞】

農業水利施設のリスク評価と信頼性設計に関する一連の研究

岡山大学学術研究院 西村伸一

【研究奨励賞】

プロセス型水食モデルの導入による水食対策の精緻化に関する研究

宇都宮大学農学部 大澤和敏

【研究奨励賞】

凍結・融解に伴う土壌中の熱・物質移動現象に関する基礎的研究

三重大学大学院生物資源学研究所 渡辺晋生

【研究奨励賞】

地球化学的手法による地下水資源開発を中心とした一連の研究

農研機構農村工学研究部門 吉本周平

【研究奨励賞】

農業水利施設の補修・補強工法とその材料に対する有効性評価手法に関する一連の研究

島根大学学術研究院 上野和広

【優秀論文賞】

ため池群水利ネットワークにおける各ため池の機能別にみた立地特性および管理上の課題

愛媛大学大学院農学研究所 平石カムイ・武山絵美
小林範之

【優秀報文賞】

地域未利用資源を活用した燃料ブリケットの改良と普及方法

農研機構農村工学研究部門 木村健一郎

中国四国農政局 爲季 誠

森林研究・整備機構森林整備センター 折笠世紀

国際農林水産業研究センター 松本武司

(一社)全日本畜産経営者協会 神谷康雄

【優秀報文賞】

米の生産費削減を目指した自動走行農機仕様の圃場整備

前(一財)日本水土総合研究所 齋藤晴美

農村振興局農村政策部鳥獣対策・農村環境課

市川敬一郎

内外エンジニアリング(株) 古高太規

【優秀報文賞】

WebGISを用いた農業用ドローンシェアリングシステムの構築

技術士事務所 SoilCares 佐藤(金子)のぞみ

(株)つじ農園 辻 武史

【優秀報文賞】

明治用水頭首工の漏水事故に対する緊急対応

岐阜大学応用生物科学部 乃田啓吾

三重大学大学院生物資源学研究所 岡島賢治

(株)ユニオン 千家正照・千原英司

岐阜大学応用生物科学部 西村真一・梶川千賀子

三重大学大学院生物資源学研究所 酒井俊典

岐阜大学応用生物科学部 平松 研

【優秀報文賞】

全国での農業用ため池の廃止工事例とその特徴

弘前大学農学生命科学部 森 洋

弘前大学大学院農学生命科学研究科 一戸栄美

【優秀技術賞】

画像解析を用いたゲート開度監視システムの実用化に向けて

農研機構農村工学研究部門 中田 達・島崎昌彦
福重雄大・吉瀬弘人・吉永育生

【優秀技術リポート賞】

農業高校の生徒による学校周辺河川における水環境調査

帯広農業高等学校 人見高史

【優秀技術リポート賞】

QGISを用いた整備履歴蓄積作業の課題とその対応

北海道農政部農村振興局農村計画課 守山耕一
片桐俊英

【優秀技術リポート賞】

宮城県における「田んぼダム」の推進

宮城県農政部農村振興課 大鷲 悠・林 貴峰

宮城県古川農業試験場 佐藤一浩

宮城県農政部農村振興課 佐藤文彦・峯田裕昭

【優秀技術リポート賞】

排水機場における騒音振動対策の検討

近畿農政局和歌山平野農地防災事業所 嵯峨直樹

近畿農政局農村振興部設計課 北園清徳

【優秀技術リポート賞】

透水性改良体を用いたため池堤体の安定化工法の開発

(株)安藤・間 西尾竜文・足立有史

農研機構農村工学研究部門 泉 明良

【優秀技術リポート賞】

ドローン搭載型レーザースキャナーを利用した施工管理

長崎県五島振興局農林水産部 松本 淳

【環境賞】

十三湖土地改良区の環境保全活動

十三湖土地改良区

【歴史・文化賞】

我が国の農業用水・農地・農村の歴史的経緯(瑞穂の国の水土里の軌跡)に係る普及活動

農村振興局整備部農地資源課 花田潤也

農村振興局農村政策部地域振興課 富田晋司

(一社)海外農業開発コンサルタンツ協会 八丁信正

(一社)農業農村整備情報総合センター

【歴史・文化賞】

溜池と井堰を中心とした農業水利施設をめぐる悠久の歴史と民俗・文化に関する学際的論考

河地利彦

【歴史・文化賞】

「国宝」通潤橋及び通潤用水に係る歴史的意義の総合的解明

山都町教育委員会

【地域貢献賞】

官民連携による新潟県亀田郷地区に建設された鋼矢板排水路の保全対策に関する一連の取組み

(株)信越測量設計

亀田郷土地改良区

新潟県農地部

【地域貢献賞】

大川原地区棚田地域の保全活動

大川原地区棚田地域振興協議会

【地域貢献賞】

農業・農村を未来につなぐ「水土里キッズのわくわく探訪」

秋田県土地改良事業団体連合会

【メディア賞】

ソーシャルメディアを活用した広報活動の取組み

宮城県農政部農村振興課

【功労賞】

農業農村整備の推進に関する技術振興と技術者育成への取組

今井浩一

【上野賞】

直轄災害復旧事業「勇払東部地区」の早期復旧の取組

厚真町土地改良区

厚真町

北海道開発局室蘭開発建設部

【上野賞】

愛媛県における樹園地整備

愛媛県農林水産部農業振興局農地整備課

【沢田賞】

生態系サービス評価・シナリオ分析による地球環境の持続的な利用・管理に関する一連の研究

東京大学大学院農学生命科学研究科 橋本 禪